神奈川県鉄構業協同組合　　令和５年９月１日発行

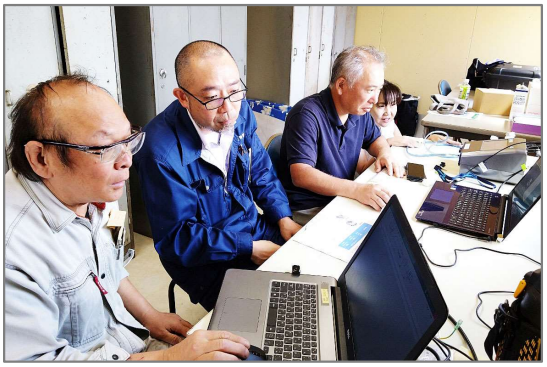
月刊 かながわ鉄構協ニュース NO. 161

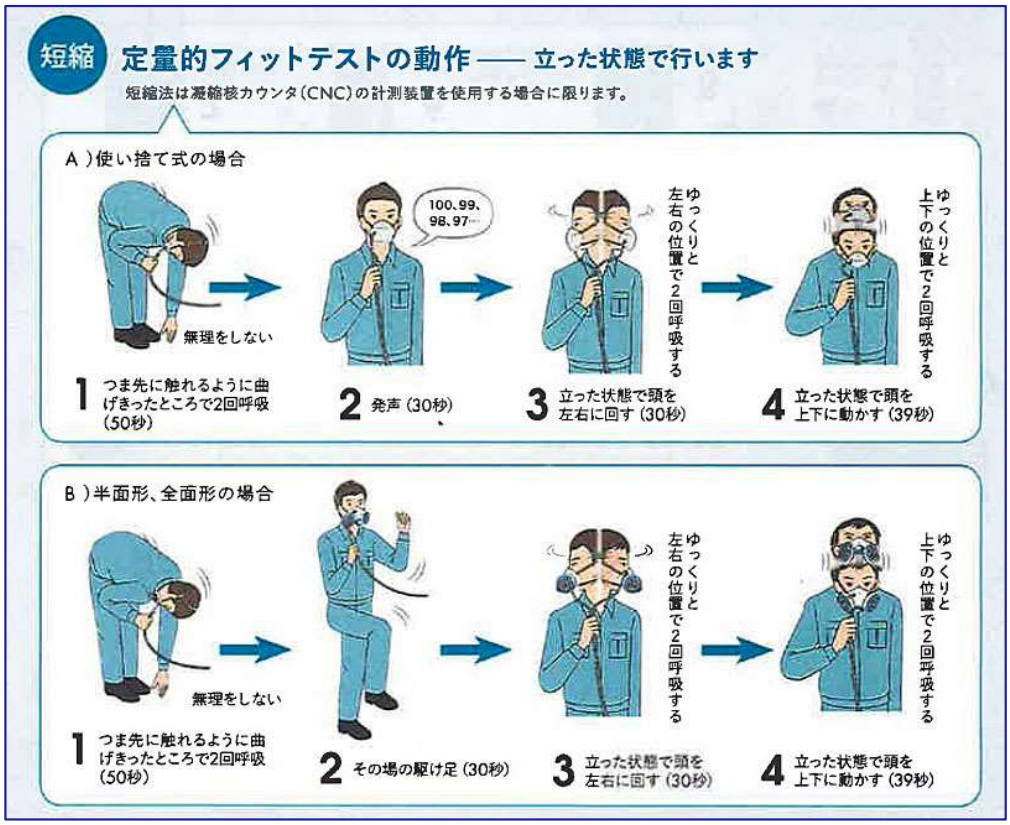
Tel　045(290)7600
Fax　045(311)7761

定量的フィットテスト測定機器貸出事業の実施 ～利用者第１号は教育技術委員長及び委員のファブの共同利用～

㈱小原鉄工所と佐原工業㈱が共同で、測定機器を組合から借り受け、令和５年７月19日にフィットテストを行った。なお、教育技術委員の青柳治夫理事(㈱青柳製作所)も、サポートのために立ち会った。

測定機器とパソコンの接続など、機器の設定に多少手間取ったものの、測定自体はスムーズに短時間で終了した。（一人３分弱）





実施してわかったこと

○　組合が送信したデータの中の動画マニュアルの　データコンバーター　被験者名簿　マスクの登録方法を見ると、初期設定はわかった。

○　パソコンを測定機器に接続する前に、必ずパソコンにソフトウエア（組合が送信したデータ¥AcuuFITマニュアル¥ソフトウエア¥32bitまたは64bit¥setup）をインストールし、Peoples_CSV、respirator_CSVデータを自社の環境に合わせて準備をしておくとスムーズにいく。

○　必要なデータを作成し、USBに保存しておけば、パソコンを接続しなくても計測可能だが、作成したデータはソフトウエアをインストールしたパソコンのConverterを使用して変換する必要がある。あとで出力することを考えると、パソコンと接続して使用することを勧める。後日CSV出力して見栄えを良くするコンバーターで変換して出力することも可能。

○　現時点ではUSBのみでの測定は実施できていないので、パソコンを使用せずUSBのみで測定する場合は日本カノマックス社に問い合わせながら実施してください。

○　respirator_CSVデータを編集する際、¥DataConverter_測定メソッドの作成¥CSV呼吸器保護具_興研_重松製作所のフォルダ内に興研と重松製作所のマスクのデータがあるので、respirator_CSVデータを編集する際に使用してください。測定しようとするマスクの種類以外のデータは、混乱を避けるためデータを削除しておいたほうがよい。

○　測定しようとするマスクの種類のデータがない場合、日本カノマックス社に問い合わせてください。その他にもわからないことがあったら、同社に電話をすれば､助言を受けながら測定することが可能。

◎　ソフトウエアをインストールして、動画を見ながらデータを作成して、コンバーターで変換して・・と手順を踏めば、組合が送信したデータだけで、フィットテストができます！！！

令和５年４月から呼吸用保護具のフィットテストを１年に１回実施することが義務化されました。
時間に余裕があるうちに、できれば組合の測定機器貸出事業をご活用いただき、近隣のファブと誘い合って実施してください。（２社で借りても同額の３万円でお得です。利用人数は問いませんので、溶接技能者以外の方も念のため実施することをお勧めします。）
まずは、組合に電話で予約をしてください。

関東支部１都９県　2022年度実質年間鉄骨生産高調査結果報告

関東支部運営委員会が６月に支部構成組合に実施した実質年間鉄骨生産高調査結果が、第２回運営委員会において発表された。この調査は、「業界環境の把握」の一環として16年度から毎年行い、今回が８回目である。関東甲信越の組合加入企業は577(579)社で年間鉄骨推定生産高は125(114)万トン１社平均 2,170(1,977)トンと、総生産高・平均ともに前年度より９％以上大幅に増加した。回答率は神奈川が８年連続の100％で、他に山梨県が100％であったが、他は40～80％台と、各県の取組状況に温度差がある。※(　)内は昨年度数値。未回答分はグレード別平均値を考慮し算出。

都県	社数	生産高A	平均	B	A／B
茨城	63	88,496	1,405	134,179	66%
栃木	53	125,238	2,363	76,840	163%
群馬	64	146,707	2,292	95,163	154%
埼玉	52	72,030	1,385	252,948	28%
千葉	61	167,225	2,741	220,411	76%
東京	47	127,341	2,709	370,930	34%
神奈川	48	48,514	1,011	222,949	22%
新潟	93	201,550	2,167	60,576	333%
山梨	31	39,685	1,280	25,101	158%
長野	65	235,248	3,619	82,293	286%
計	577	1,252,034	2,170	1,541,390	81%

各県別の生産高では長野、新潟、千葉の順に多く、神奈川は山梨に次いで少なかった。昨年度との比較では千葉(39%)、茨城(16%)、山梨(15%)、神奈川、新潟、東京、長野、栃木の８都県が増加した一方、埼玉(3%)、群馬(2%)の２県で減少となった。１社平均では長野、千葉、東京、栃木、群馬、新潟の順に多く、神奈川が最低であった。

	神奈川			1都9県		
	社数	生産高	平均	社数	生産高	平均
S	0			2	104,624	52,312
H	3	21,180	7,060	66	512,942	7,772
M	23	22,501	978	215	439,086	2,042
R	10	3,374	337	147	140,415	955
J	0			2	300	150
他	12	1,459	122	145	54,667	377
計	48	48,514	1,011	577	1,252,034	2,170

１都９県全体のグレード別生産量はＨが41%、Ｍが35%、Ｒが11%、Ｓが8%、未認定が4%であった。１社平均ではＨはＭの約3.8(3.7)倍、ＭはＲの約2.1(2.4)倍仕事をこなしている。神奈川のＭの１社平均生産高(978トン)は従来同様１都９県全体のＭ(2,042トン)の半分以下と少ない。

2022年度の建築着工面積から割り出した鉄骨需要量(上表中のＢ)は154万トンで２割弱の29万トンを域外・組合未加入企業が受注・生産した計算になる。県別の需要量に対する生産高比較では新潟と長野で約３倍となっているが、神奈川は２割強で、着工面積需要量からは７割弱を占める東京・埼玉・神奈川・千葉の首都圏は実際には39(28)％しか受注しきれていない状況にある。

組合創立50周年記念事業

1974(昭和49年)11月13日、神奈川県鉄構業協同組合創立総会が開催されて、2024年(令和６年)11月で創立50周年を迎える。

そこで、標記事業を担当する総務委員会が８月24日(木)に開催され、事業内容を検討した。

当組合の40周年及び30周年、並びに最近50周年記念式典を催した他県の記念式典・記念誌を比較分析しつつ、記念式典・祝賀会などの日程・会場などや、記念誌の内容・発行日などを議論した。今後、月１回程度、委員会を開催し、議論を深めていく予定である。

今後の主な行事予定

合同支部会　11月18日(土)～19日(日)
箱根湯本温泉「ホテル南風荘」
研修会テーマ「溶接のひずみ(仮)」

賀詞交歓会　令和６年１月25日(木)
HOTEL PLUMM(組合事務所裏)

青年部会のＢＢＱ大会が、９月３日（日）に開催されます。
今年こそ晴れますように！

低濃度ＰＣＢ廃棄物の処分期限は令和９年３月31日まで

ＰＣＢ廃棄物の適正な処理促進に関する説明会が12月１日（金）13:30～15:30、ＴＫＰ市ヶ谷カンファレンスセンターで開催されます。
お申込みは　→　https://pcb2023.go.jp
事前予約制で、入場無料です。
説明会の内容は、10～３月オンデマンド配信予定。

代表者人事　８月　株式会社渡辺鐵工所（平塚市）　渡辺健太氏（代表取締役）　寺嶋典将氏（相談役）